

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42354
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成30年10月30日

リコール届出番号	4357	リコール開始日	平成30年10月31日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（冷却水ホース）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ラジエーターとリザーバータンクを繋ぐホース及びリザーバータンクのブリーザーホースの材料の配合量が不適切なため、当該ホースの耐久性が不足しているものがある。そのため、当該ホースが早期に劣化して亀裂が生じ、最悪の場合、亀裂部から冷却水が漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ラジエーターとリザーバータンクを繋ぐホース及びリザーバータンクのブリーザーホースを対策品に交換する。		
不具合件数	17件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 4357のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	2BK-SG37J	「TRICITY MW150A」	SG37J-001002～SG37J-003795 平成28年10月13日～平成30年5月22日	2,750台	
	2BJ-SEC1J	「TRICITY MW125」	SEC1J-002001～SEC1J-002570 平成29年11月10日～平成30年2月21日	560台	
		「TRICITY MW125A」	SEC1J-001001～SEC1J-001332 平成29年11月3日～平成30年4月30日	326台	
	（計2型式）	（計3車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成28年10月13日～平成30年5月22日	（計3,636台）	

（備考）リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。